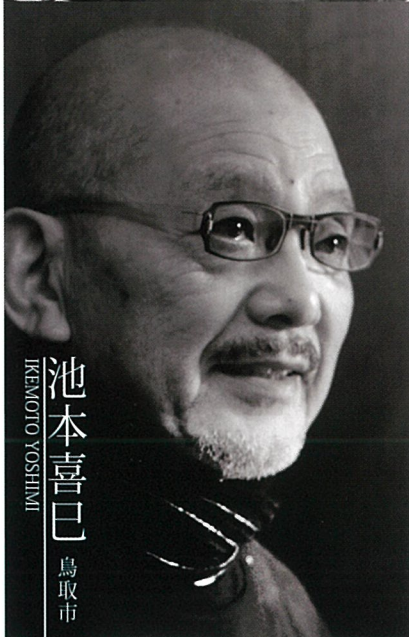


平成二十八年度 鳥取県文化功労賞 受賞記念巡回展

特別記念講演「講師 日置桑左門」

「信長の外交と戦国大名」伯耆南条・小鴨氏の家中」
日時 平成二十九年一月十五日(日) 午後二時
場所 倉吉交流プラザ(倉吉市賦経寺町一八七-二)

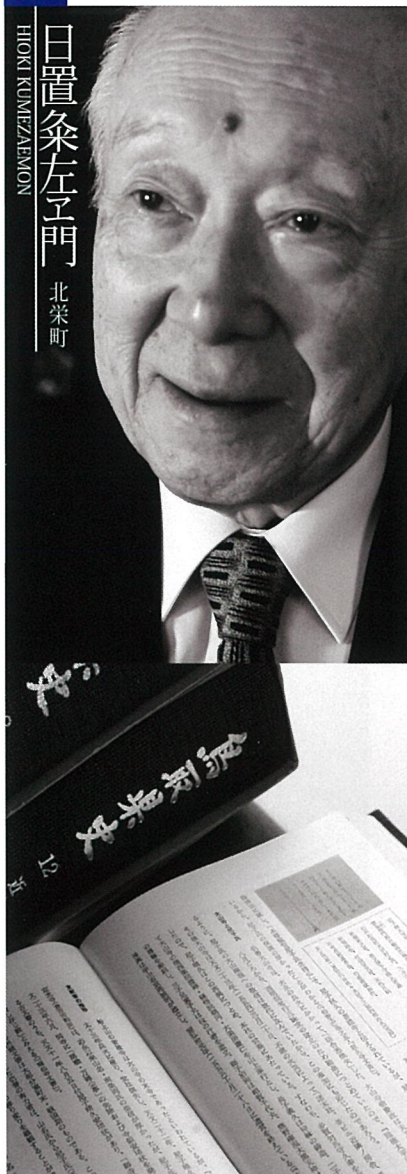


池本喜巳 鳥取市
IKEMOTO YOSHINORI

写真

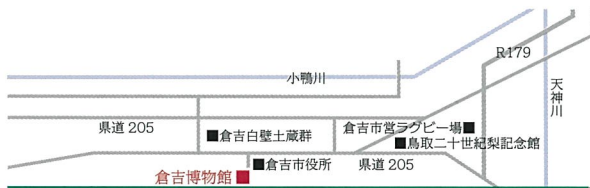
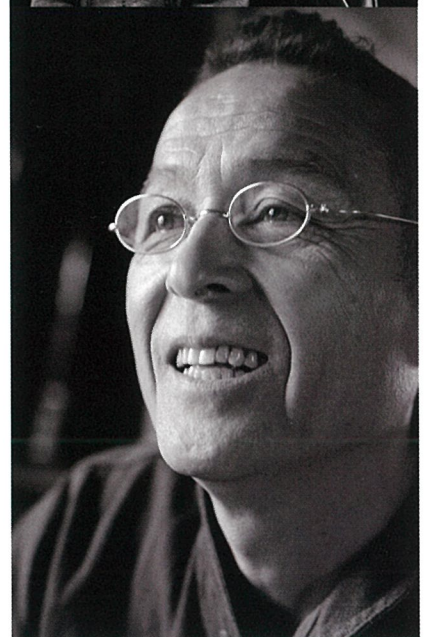
郷土史

日置桑左門
HIKIKI KUZOEMON
北栄町

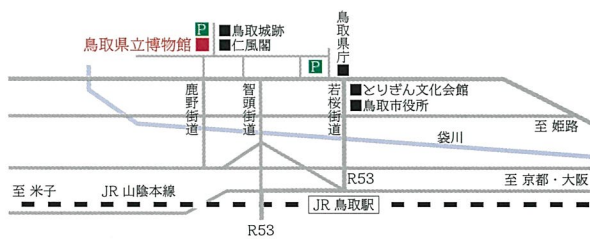


革工芸

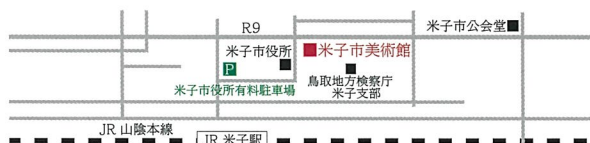
本池秀夫
MOTOIKE HIDEO
米子市



2017.1.14(土)-1.20(金)
倉吉博物館 第4展示室 9:00-17:00 休館日 1.16
倉吉市仲ノ町 3445-8 TEL.0858-22-4409



2017.1.24(火)-1.28(土)
鳥取県立博物館 第2展示室 9:00-17:00 休館日なし
鳥取市東町二丁目 124 TEL.0857-26-8042



2017.2.10(金)-2.16(木)
米子市美術館 第1展示室 10:00-18:00 休館日 2.15
米子市中町 12 TEL.0859-34-2424

主催：鳥取県

お問い合わせ：鳥取県地域振興部文化政策課 TEL.0857-26-7134 FAX.0857-26-8108 E-mail:bunsei@pref.tottori.jp

各会場とも入場無料

平成 28 年度 鳥取県文化功労賞

鳥取県では、平成15年度から優れた芸術文化活動により広く文化の振興に功績のあった方の功績を讃えて表彰し、県民文化の向上に資することを目的として、鳥取県文化功労賞を設置しています。本巡回展は、平成28年度に受賞された方の功績と活動を広く県民のみなさまに紹介するものです。

写真

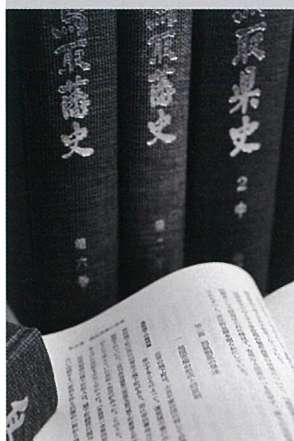
池本喜巳
鳥取市



昭和19年生まれ 大阪で修行の後、池本喜巳写真事務所を鳥取市にて創業。昭和53年に第9回アルル国際写真フェスティバル（フランス）と昭和55年ドイツ・ケルンで開催されたフォトキナに植田正治の助手として参加。仕事の傍ら、故植田正治の助手を長くつとめる。ライフワークとして、山陰の人物や風景、個人商店などを撮影。国内外で作品展や講演会を開催。平成27年に東京と大阪のニコンサロンにて昔ながらの個人商店を撮影した写真展「近世店屋考」開催。平成28年に「池本喜巳小さな写真美術館」（鳥取市吉方温泉）を開館。写真集『近世店屋考』出版により、経済産業大臣感謝状を受ける（平成18年）。また、鳥取市文化賞（平成11年）、第32回写真の町東川賞飛弾野数右衛門賞（平成28年）などを受賞。

郷土史

日置桑左エ門
北栄町



昭和10年生まれ 県立高校の社会科教員として教鞭を執る傍ら、長年にわたり歴史研究に取り組み数多くの研究論文・著書を世に出すとともに、中世史研究の第一人者として県の歴史学界を牽引してきた。昭和38年度に始まった鳥取県史編さん事業では、編さん専門委員、県史編さん室主任、同主幹として編さんの中心的役割を果たした。県立博物館の立ち上げにも関わり、特に鳥取藩主池田家が残した膨大な史料を整理して図書館から博物館へ移管する事業ではその中心となり、現在の博物館の藩政資料の保存・活用の基礎を築いた。各地の市町村史の編さんにも関わり、歴史を通じた地域づくりや文化財保護にも貢献した。『ふるさと歴史めぐり（中学生版鳥取県史）』（県教委、2002年）の執筆・編集・監修に携わるなどを通じて、青少年に対する歴史の普及にも貢献した。平成18年度に始まった新鳥取県史編さん事業では古代中世部会の副部会長として事業の推進に尽力している。

革工芸

本池秀夫
米子市



昭和26年生まれ 自らが修行し、取得した革工芸を基に牛革の素材を見極め、独自に技法や制作道具に工夫を凝らす。革という素材の質感や造形の可能性を広げつつ創作し、細部にまでこだわり独創のリアリズムを追求する。昭和46年の大学在学中に「アトリエMOTO'S」を主宰。昭和48年に渡欧、帰国後、人形作家への道を志す。昭和50年にノーマン・ロックウェル展（in 渋谷パルコ）に賛助出品。西武デパートで初の個展。以降、個展及び個人依頼による作品製作。昭和55年に「アトリエMOTO'S」を米子に移転。平成14年米子市文化奨励賞受賞。平成28年2月に鳥取県指定無形文化財「革工芸」保持者に認定。